

内堀小学校

内堀小学校は、「ことばあふれる学校」をテーマに、さまざまな体験をもとに俳句を詠んだり、作文を書いたりする活動に取り組んできました。また、「地域のよさを受け継ごう」と、国指定の重要無形民俗文化財「塩原の大山供養田植」の継承や、内堀植物図鑑の作成をしました。



大山供養田植



俳句押し花

●教職員／桑原麻由美校長 外9人 ●児童／男15人・女10人 計25人

沿革

- 明治 8年 塩原、内堀の2教場で開設
- 11年 合併して所尾小学校となる
- 12年 分離して内堀小学校、塩原小学校となる
- 20年 合併して内堀簡易小学校となる
- 40年 内堀尋常高等小学校となる
- 昭和 22年 学校教育法の改正により、小奴可村立内堀小学校と改称
- 30年 町村合併により、東城町立内堀小学校と改称
- 32年 校舎完成
- 33年 学校給食を開始
- 51年 創立100周年記念事業を実施
- 54年 屋体完成
- 平成 9年 学校適正配置計画実施により、千鳥小学校と統合
- 17年 市町合併により、庄原市立内堀小学校と改称

休校式

とき 3月21日(日)10時30分～ ところ 内堀小学校屋内運動場
休校記念事業(休校式終了後) ●記念碑除幕 ●思い出を語る会

内堀小・帝釈小が休校へ

135年間
ありがとう



児童数の減少などで、東城町の内堀小学校と帝釈小学校が3月末で休校になります。

4月から内堀小学校の児童は小奴可小学校へ、帝釈小学校の児童は東城小学校へ、それぞれ通うこととなります。

地域に見守られながら歴史を重ねてきた学校の足跡を振り返ります。



帝釈小学校

帝釈小学校は、校区に国定公園「帝釈峡」があることから、その豊かな自然を生かし、さまざまな特色のある教育実践を展開してきました。特に科学研究、自然観察、愛鳥活動は40数年の伝統と実績を誇り、平成19年度に環境大臣から環境保全功労者表彰を受賞するなど、数々の表彰を受けてきました。



愛鳥活動



自然観察

●教職員／重光 登校長 外8人 ●児童／男6人・女7人 計13人

沿革

- 明治 8年 宇山学校、未渡学校を設立
- 昭和 12年 両校を統合し、帝釈尋常高等小学校となる
- 22年 学校教育法の改正により、帝釈村立帝釈小学校と改称
- 30年 町村合併により、東城町立帝釈小学校と改称
- 33年 学校給食を開始
- 48年 水泳プール完成
- 50年 全国へき地教育研究大会(理科教育会場校)
- 51年 創立100周年記念事業を実施
- 平成 元年 新校舎完成
- 9年 学校適正配置計画実施により、始終小学校と統合
- 17年 市町合併により、庄原市立帝釈小学校と改称

休校式

とき 3月22日(月)10時30分～ ところ 帝釈小学校屋内運動場
休校記念事業(休校式終了後) ●記念碑除幕 ●思い出を語る会